昭和女子大学 社会福祉学会

News Letter

第 11 号

2022 年 12 月 23 日発行

【学会事務局】 〒154-8533 世田谷区太子堂 1-7-57

昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科 TEL 03-3411-6936 FAX 03-3411-6281

Mail: fukushi@swu.ac.jp

学科ホームページ:http://swuhp.swu.ac.jp/university/fukushi/

学科ブログ:http://content.swu.ac.jp/fukushi-blog/

1. 第16回大会ご案内

〇日時:2023年2月25日(土)13:00~15:00

○テーマ:学部生・院生・卒業生による研究発表~実践の動向と今後の展望~

ご挨拶

第 16 回学内学会では、福祉社会学科学部生·院生·卒業生による研究発表と実践報告を用意しました。

実践報告では、在校生によるフィリピン(セントメリーズカレッジケソン)との大学間交流による取り組みや、昭和ボストンでの夏季研修の学び、

アフリカ・ガボンにて児童支援を行う大学院生による現地からの生中継、また全国社会福祉協議会で活躍する卒業生の報告を予定しております。

研究発表ならびに実践報告からその取り組みを共有し、グローバルな視点から社会福祉を広く理解できる貴重な機会となることを期待いたします。

今後も昭和女子大学社会福祉学会(学内学会)が、卒業生の皆さんと在校生との交流の場となりますよう、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

福祉社会学科学科長 根本治代

2. 第 16 回大会スケジュール

日 時:2023年2月25日(土)13:00~15:00

会 場:昭和女子大学 (オンラインによる開催)



	内容	登壇者
1	総会 学会報告	
2	開会挨拶	根本 治代/昭和女子大学社会福祉学会会長 (学科長)
3	卒業論文 優秀論文発表	松田 美紀/昭和女子大学福祉社会学科4年
4	研究発表 若年層におけるデート DV の特徴 ーアンケート調査とインタビュー調査からー	陶 嘉禕/早稲田大学人間科学学術院 院生
5	大学院 生活機構研究科 研究発表 学童期の子どもを持つがん患者と家族が体験 する「病い」の語り〜SCAT による CLIMB®プログラムからの分析〜	久住 真有美/昭和女子大学大学院 生活機構 研究科 修了生
6	大学院 生活機構研究科 研究発表 民間保育所保育者の負担感と仕事を継続する カー負担感と仕事の意味を見出す保育士の語 りから	梅澤 七恵/昭和女子大学大学院 生活機構研 究科 修了生
7	実践報告 ボストン留学報告	須藤 絵美/昭和女子大学福祉社会学科 参加者
8	実践報告 フィリピン交流報告	町田 梨緒・三浦 千晴/昭和女子大学福祉 社会学科 参加者
9	実践報告 市社協と全社協の立場から見る社会福祉協議 会の実践	福與 紗菜/昭和女子大学福祉社会学科 2018 年度卒業生
10	実践報告 ※オンライン中継 アフリカ・Gabon の人々と生活	小川 恵美/昭和女子大学大学院 生活機構研 究科 院生
11	閉会挨拶	高橋 学/福祉社会学科 教授

●参加方法について

参加無料・申し込み不要です。会場へ直接お越しください。 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンライン開催に変更の可能性があります。その場合は改めてご連絡をお送りします。

